

# 「ともに語り ともに憩い ともに生きる」



第250号 令和6年1月発行

特別養護老人ホーム 竜ヶ浜荘

〒930-3252

富山県中新川郡立山町末上野字竜ヶ浜119番地

☎(076)462-2600 FAX(076)462-2622

ホームページ <http://ryugahama.jp>

Eメール [ryu-hama@basil.ocn.ne.jp](mailto:ryu-hama@basil.ocn.ne.jp)

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
無事新年を迎えましたこと、皆様からのご支援によるものと心より感謝しております。  
本年もご利用者様の安心・安全、更なるサービスの向上に努め、笑顔がたくさん見られるよう  
職員一同努めて参りますので、今後も一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

特別養護老人ホーム竜ヶ浜荘  
施設長 室岡郁代

おみくじを引いた皆さんの表情

きっと大吉に間違いなしですね！



施設内に設けた竜神社に初詣へ  
ご自身や家族の健康を祈願しました



【クリスマス会】

施設内でクリスマス会を行いました。帽子やトナカイのカチューシャを身に着け、皆さんでクリスマスソングを歌った後、ケーキやシャンメリーを召し上がっていただきました。

鈴の音に合わせてサンタクロースとトナカイが登場すると、拍手で歓迎！サンタクロースからプレゼントを手渡されると、とびっきりの笑顔で受け取っていただきました。

「嬉しい！ありがとう」「ケーキもおいしかったよ」と楽しそうにお話ししてくださり、クリスマス会を満喫していただきました。

感染症対策のため、今年も制限の多い一年でしたが、楽しい行事で締めくくることが出来たことを、職員一同嬉しく思っています。



## —ご寄付感謝—

富山県善意銀行様より沢山の“みかん”をご寄付頂きました。  
本格的な冬の訪れとともに、心温まる贈り物を頂き、入所者様からは喜びの声が上がっていました。さっそく召し上がっていただくと、「甘くておいしいわ」「もう一つ食べたい」など、笑顔があふれていました。毎年のお心遣いに深くお礼申し上げます。



NHK歳末たすけあい募金様より配分をいただき、入所者様へクリスマスプレゼントを購入しました。プレゼントには“くつした”や“ショッピングバッグ”“タオル”を選ばせて頂きました。クリスマス会では心温まる時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

## —えびろん便り—

今回はお誕生日会の“お祝い御膳”についてご紹介したいと思います。  
厨房では、毎月のお誕生会の昼食に豆おこわ、おやつには手作り誕生日デザートを提供しています。11月の誕生日会では、竜ヶ浜荘の中庭で収穫したさつまいもを使い、常食の方には“モンブラン風さつまいもケーキ”ソフト食の方には“さつまいもプリン”を召し上がっていただきました。さつまいもは収穫後、じっくりと寝かせておいたものを使用したため、甘味が増して美味しく作ることができました。利用者様からは「竜ヶ浜荘のさつまいも、甘くておいしいね」「おいしいわ～ありがとう!」「おかわりある?」と笑顔で喜んでいただけました。

今後も行事食で季節を感じていただき、利用者様に美味しく楽しい時間を過ごして頂けるよう、工夫してお食事を提供していきたいと思っています。



「お祝い御膳」  
豆おこわ  
ニラと焼豆腐の卵とじ  
きゅうりの酢の物  
汁物（そばと葱）  
くだもの



「手作り誕生日デザート」

- ・さつまいもプリン  
さつまいもたっぷりなめらかプリン。
- ・モンブラン風さつまいもケーキ  
ケーキにさつまいもペーストを絞りました。



※嚥む力や、飲込む力が弱い方には、同じメニューを食べやすいようにミキサーにかけて提供しています。

## 行

### 1月

- 8日 美容カットの日
- 10日 喫茶の日
- 29日 理容の日
- 31日 誕生会



### 2月

- 7日 喫茶の日
- 1-2日 美容カットの日
- 26日 理容の日
- 28日 誕生会



## 事

### 3月

- 6日 喫茶の日
- 11日 美容カットの日
- 25日 理容の日
- 27日 誕生会



## —編集後記—

この年末年始は4シーズンぶりに行動制限のない冬を迎え、帰省や久しぶりの再会など皆さん楽しい時間を過ごしていらっやっったと思います。そんな中での能登半島地震の発生。テレビやラジオから被災地の様子を目にして心が痛みます。心はまだまだ落ち着きませんが、1日も早い復興に向けて私たち一人ひとりが被災地に思いを馳せ、協力することで、日本全国に笑顔が広がる1年になることを願うばかりです。

